

# HOT ITEM SPECIAL TEST

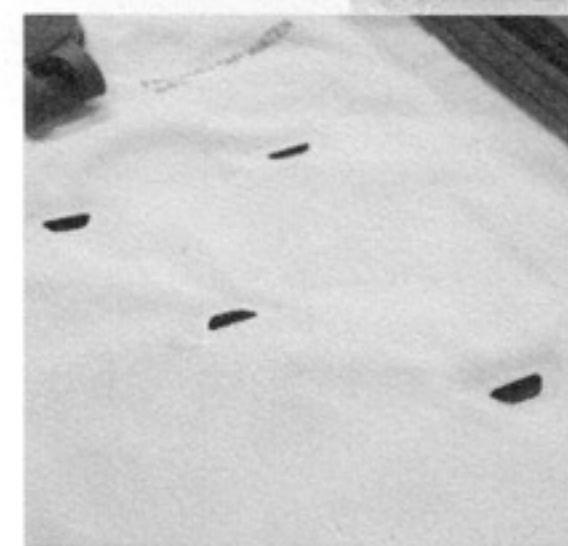
●税込価格:1万2600円  
●サイズ:XS~M、L~XL、  
2XL~3XL  
●REPORT:大屋雄一  
●PHOTO:飛澤慎  
●ジャペックス  
<http://www.japex.net/>  
☎03-3773-7633



## ジャペックス MACNA ドライクールベスト

オランダのライディングギアメーカー“マクナ”から、気化熱を利用した冷却ベストが発売された。水を500ml注入するだけで、5~15℃の冷却効果が最大で72時間も持続するという商品だ。

→表地はナイロンジャージ+ポリウレタンで、裏地は国際特許のウィッキングポリエステルフリースだ。



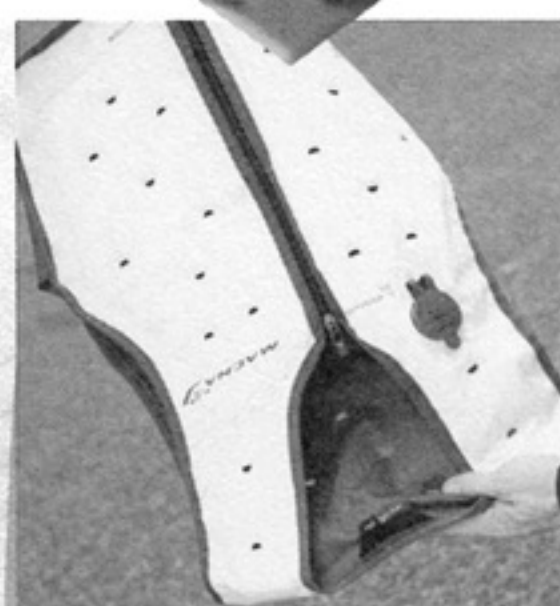
↑表地はナイロンジャージ50%+ポリウレタン50%。台形の穴も冷却効果に貢献している。



↑前身頃の右側に設けられた注入口。キャップは手で簡単に開閉でき、しかも気密性は高い。



↑注入口のキャップを開いて水道水を注入。表地と裏地の間に空間を作るとスムーズに入る。



↑500mlの水道水を入れ終わったらキャップを閉じ、全体に行き渡るようにベストを揺する。



↑冷たさを伝えながら下着を濡らさない裏地。既存の冷却ベストを敬遠していた人にお勧め。



↑サイドには伸縮素材が使われており、体にピッタリとフィットするように工夫されている。

### ジャケットに注水!



↑注入するのは水道水で、その量は500mlだ。多く入れすぎると注入口からあふれる可能性あり。効果は最大で72時間持続する。

# 電気不要、気化熱で涼を得る。

水濡れ一切なし  
本当に涼しいぞー!

ジャケットもパンツもメッシュにしただけとまだまだ暑い! というところでテストしてみたのが、マクナというブランドのドライクールベストだ。以前、冷水に浸してから使うタイプの冷却ベストを試したが、この製品は水道水の中に注入して使用する。内部にはスポンジ状の高吸水素材が装入されており、ここに取り込まれた水分が気化する際に冷気を発生し、体をクールダウンするという仕組みだ。アンダーウェアと接触する裏地は、水分は通さず冷たさのみを伝える伝導層となっており、衣服を湿らすことがない。

テストしたのは気温が35℃を超える猛暑日で、とりあえず説明書に従って前身頃の右側にある注入口から500mlの水を入れ、全体に行き渡るようにベストを左右に振ったり上下逆さまにする。その後、吸汗速乾性のアンダーウェアの上にこのベストを羽織り、さらにメッシュジャケットを着用する。すると、ベストに接触している胸や腹部、背中などは明らかにほかの部位よりも涼しいのだ。この現象はバイクで走り出すとさらに顕著になり、メーカーが唱える5~15℃の冷却効果が正しいことを実感できた。

体に密着していないと効果が半減してしまうので、サイズ選びは慎重に。もっと早い時期に試せばよかったと後悔するほどの良品だ。